

# Go for 3E! ～保護者の皆さまへ校長メッセージ～

三田西陵高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

11月号

## “スタサポ”から“スタサブ”へ Vol.2

三田西陵高校ではBYODで一人一台タブレット（Chromebook）を持つようになった2年生から（株）リクルートのスタディーサブリを活用しているという話は10月号でいたしました。今回はそのスタサブを深掘りします。

三田西陵高校での「取り組み状況」がどのフェーズに該当すると思われますか？

### ① 学習習慣 未定着フェーズ

一部の学習習慣・意欲のある生徒（1～2割）が取り組む。

### ② 言われたらやるフェーズ

「課題はやらなくてはいいない」という意識ができ、学習習慣化。とはいえ、作業化している部分もある。

### ③ 習慣化・学習フェーズ

「やること」でなく、「理解・定着」が目的となり、取り組みが学習になっている。かつ、習慣化できている。

### ④ 目的意識獲得→自立フェーズ

学習の仕方が理解できており、自らの目的意識を獲得した瞬間、自立して最適な学習に取り組める。

### ＜スタサブ導入の目的＞

進研模試等ではこれまでどおり（株）ベネッセコーポレーションにお世話になります

- ✓ お子様一人ひとりの正確な学力を把握し、個に応じた学習サポートを実現していくことで、学習内容の定着度が高まる。
- ✓ 一斉授業ではカバーしきれないお子様一人ひとり違う「わからない」箇所を休暇期間や週末で復習することで「わかる」楽しさが実感できる。
- ✓ タブレット（Chromebook）に入っているスタサブのコンテンツを使いこなすことで、お子様にあった家庭における学習習慣を身に付けることができる。

### ＜スタサブの活用例＞

日々の授業範囲から難関大学入試レベルまで豊富な講義動画

- ①到達度テスト（年2回）⇒結果に連動した課題配信機能を活用  
※自分の弱点箇所をふまえた事後学習（講義動画視聴）をすることができる！
- ②到達度テストの結果レポート及び学習習慣アンケートを先生との面談で活用
- ③宿題配信による週末課題（講義動画・WEBテスト）
- ④長期休暇中の課題（講義動画・WEBテスト）
- ⑤テスト対策教材（定期テストや実力テストに向けたおすすめ視聴動画の提示）

本校の教員は西陵生のフェーズに合わせたスタサブの活用方法を、（株）リクルートの担当者の方と一緒に日々考えております。

大事なことは、タブレットに入っているスタサブの数々のコンテンツを、お子様に合った方法で主体的にどんどん使いこなしていただけるかどうかということです。

スタディーサブリが効果的に活用していただけるよう今後も取り組んで参ります。

### 授業公開週間

11月6日（月）～17日（火）

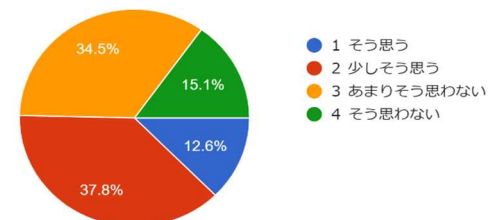
「どの生徒にもわかりやすい授業のユニバーサル化」、「生徒がタブレット端末を利用した授業」をテーマに公開授業を実施し、本校教員がお互いの授業を見合うことで授業力を高めていきます！

### ＜質問コーナー＞

【Q】“スタサブ”導入の決め手は何ですか？

【A】一番の決め手は「西陵生の実態に合った学習サポートツール」だからです。保護者の皆さまは、最近「令和の日本型教育」という教育用語を耳にされたことはございませんか？そこで大事になってくるキーワードが「個別最適な学び」と「協働的な学び」です。次の図は昨年度実施したお子様の「生徒アンケート結果」です。お子様一人ひとりの「個別最適な学び」が実現できるツールとして“スタサブ”を活用していきながら、家庭における学習習慣を身につけ、学びに向かう力、自走する力を育てていきます。

家庭において学習習慣（予習・復習など）が身についている。



- 1 そう思う
- 2 少しそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 そう思わない

### （ザックリとした用語解説）

「令和の日本型学校教育」は、2021年1月に出版された中央教育審議会の答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」の中に登場した言葉で、未来に向けて目指す学校教育の姿です。